

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 5日

事業所名 イージスシールド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		言語聴覚士をいれるなど専門性を高めている	人数や内容に応じて非常勤職員に来てもらうなど適切に配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の終礼とケース会議などでみんなで取り組んでいる	常に理念を共有し、目標に向かって職員みんなで取り組んでいる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートでご指摘いただいた点は会議をして共有し、速やかに改善するようにつとめている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		去年は第三者による外部評価ができなかったため今年は開催する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	毎月必ず研修の時間を設けている	外部の研修にも積極的に参加して他の職員に還元するようにしている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを5回行っている	アセスメントをもとに支援計画を作成し、支援にいかしている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			市販のツールと独自のツールを合わせて使っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		分担して原案を作っている	担当者が原案を作成し、それをチームで検討して立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			過去の事例を参考にしながらも、いつも新しい試みを入れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			休日・長期休暇は朝から児童がくるので、毎回プログラムを検討している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			基本的には個別のプログラムだが、感覚統合のゲームやトランプなど集団活動も毎日取り入れている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎朝、朝礼を行い、役割分担を確認して支援にあたっている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎日終礼を行い、児童の支援内容や様子について共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日の支援内容は必ず記録し、支援生かしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			相談支援事業所と連携してモニタリングを行い、次の支援計画にいかしている
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			就労訓練特化型をしているが、5領域を満たすように支援している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			基本的には自発菅が参加しているが、必要に応じて担当職員も参画している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			予定表をもらったり、必要に応じてケース会議を開いてもらうなど連携している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在は医療的ケアを必要としている児童はいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		本事業所は中高生メインでやっていて、低学年の子は受け入れていないので幼稚園等とは連携していない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			複数の就労移行支援の事業所と連携して進路の確保にもつなげている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナで交流する機会もなかったが、今後は検討していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳やLINEを通じて保護者に様子を伝えている。そのほかにもインスタグラムなどでも発信している
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			十分に時間をかけて説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			個別に相談を受けたり、最先端の情報をSNSなどで発信している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			貴重な先輩の話を聞く機会でもあるので、年2回は開催したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			HPやインスタグラムなどのSNSを活用している
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報については取り扱いに特に注意している
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後は少しずつ招待していきたい	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			研修と訓練を実施し、保護者に伝えている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎年研修し、年2回の避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員研修を実施し、虐待防止委員会を開催している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			外部研修も取り入れて研修しているが、子供や保護者にも説明していきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギーがありエピペンをもっている子がいるので、職員や子どもに共有していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			毎日の終礼の中でヒヤリハットにあたる事例は共有し、事例集にのせるようにしている